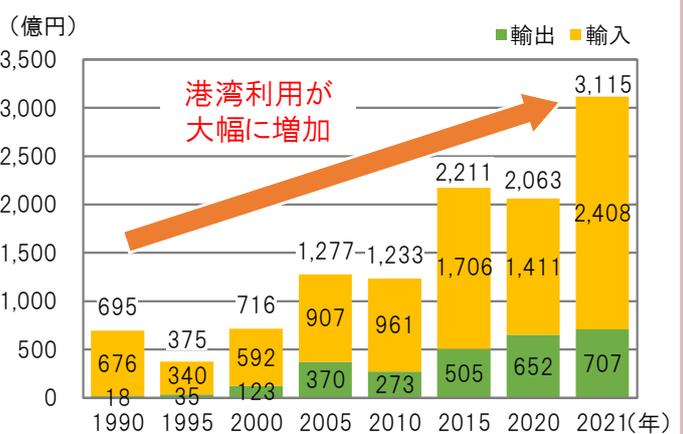


港湾へのアクセス向上

秋田港は、2011年に日本海側拠点港(国際海上コンテナ)に選定され、北東北で最大の便数を誇る国際コンテナ定期航路があります。秋田港の利用の高まりとともに、**秋田港へのアクセス向上が港湾物流の効率化を支援**しています。

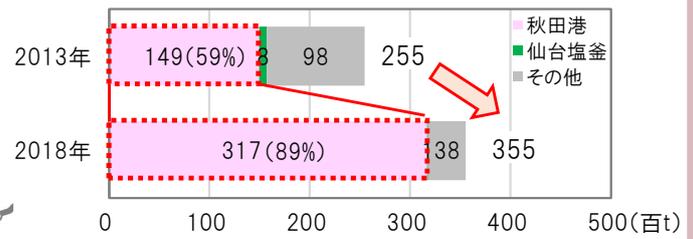
工業団地(生産拠点)と港湾を結ぶ秋田道

秋田県の輸出入額の推移



秋田県を生産地とした貨物の船積港

貨物量が約1.4倍に増加し、秋田港は、秋田県産品を運ぶ上で重要な存在に



《物流会社の声》



秋田港から北上へ海上コンテナを運んでいます。秋田道を使用することで、輸送の効率化が図られています。

出典: 2022年ヒアリング調査

TOPICS 秋田港に国際貨物定期航路が整備



秋田港は、2011年11月に東北・北海道では唯一、国際コンテナ分野の日本海拠点港として選定され、また、新国際コンテナターミナルも整備し、年間100,000TEUを取扱うことが可能となりました。

韓国(釜山)航路が週5便出港し、青島や大連、天津まで延伸されています。LCLサービス(小口混載貨物輸送)により全世界へ向けた輸送サービスが可能であり、利便性が飛躍的に向上しています。

写真提供: 秋田県